

第8回 鬼怒川・小貝川上流域大規模氾濫に関する 減災対策協議会

令和3年度の取組及び今後の取組について

1) ハード対策の主な取組

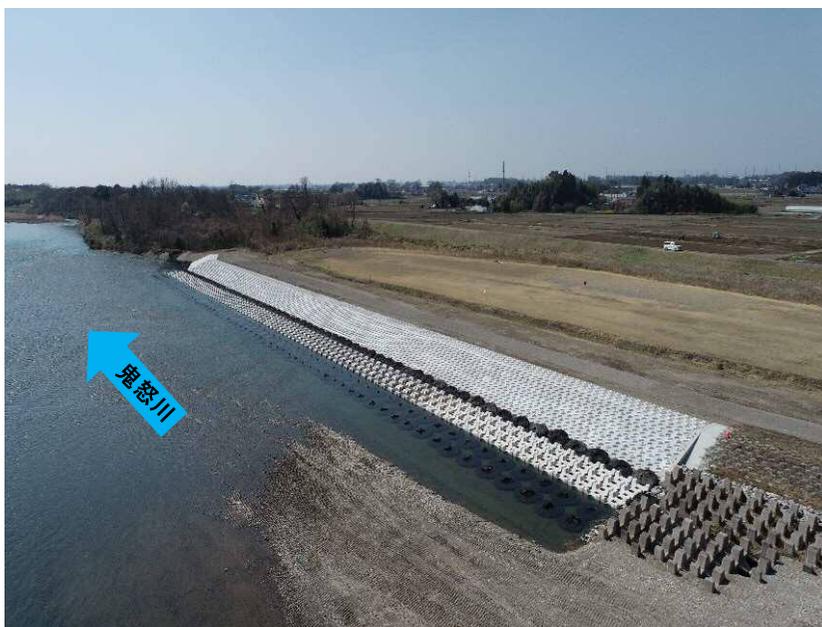
■ 洪水を河川内で安全に流す対策

- 護岸整備(河岸浸食対策)等
 - ✓ 鬼怒川の護岸整備(河岸浸食対策)等

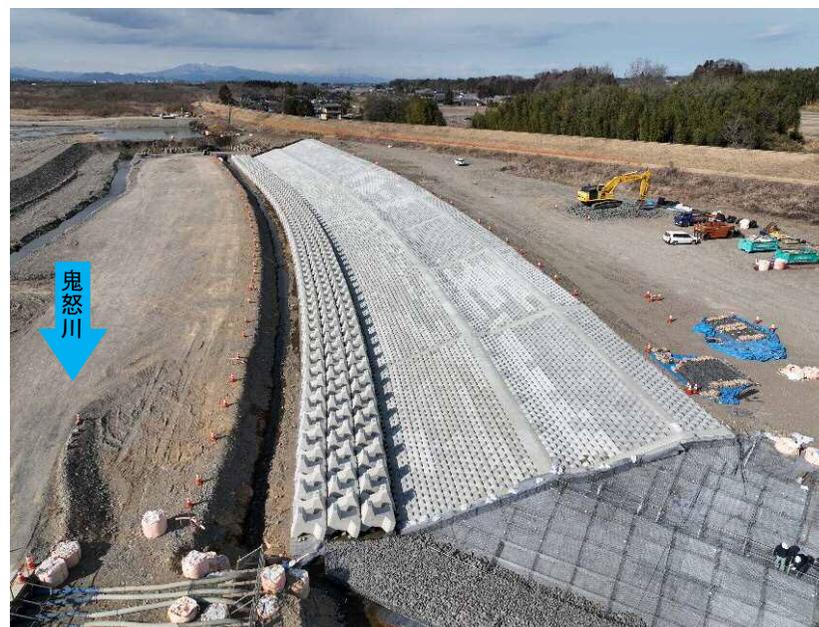
【国の取り組み】

関東地整

宇都宮市下岡本町地先 完成



宇都宮市鷺巣地先 施工中



1) ハード対策の主な取組

■ 洪水を河川内で安全に流す対策

- 護岸整備(河岸浸食対策)等
 - ✓ 鬼怒川の護岸整備(河岸浸食対策)等

【国の取り組み】

関東地整

宇都宮市桑島地先



宇都宮市柳田地先



1)ハード対策の主な取組

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備
 - ✓リスクが高い区間の水位情報をリアルタイムで自治体へ伝送する環境をH28年度～整備
 - ✓サーバー増設により鬼怒川・小貝川59箇所でのライブ映像を配信

【国の取り組み】令和4年2月現在

関東地整

関東地整

CCTVカメラの配信継続(全59箇所)

<下館河川事務所HPにて配信中>



クリックすると...



ライブカメラ



平常時の様子



1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 簡易水位計や量水標、簡易型河川監視カメラの設置
- ✓ 簡易水位計や量水標、簡易型河川監視カメラを整備し、配信中

【国の取り組み】令和4年2月現在

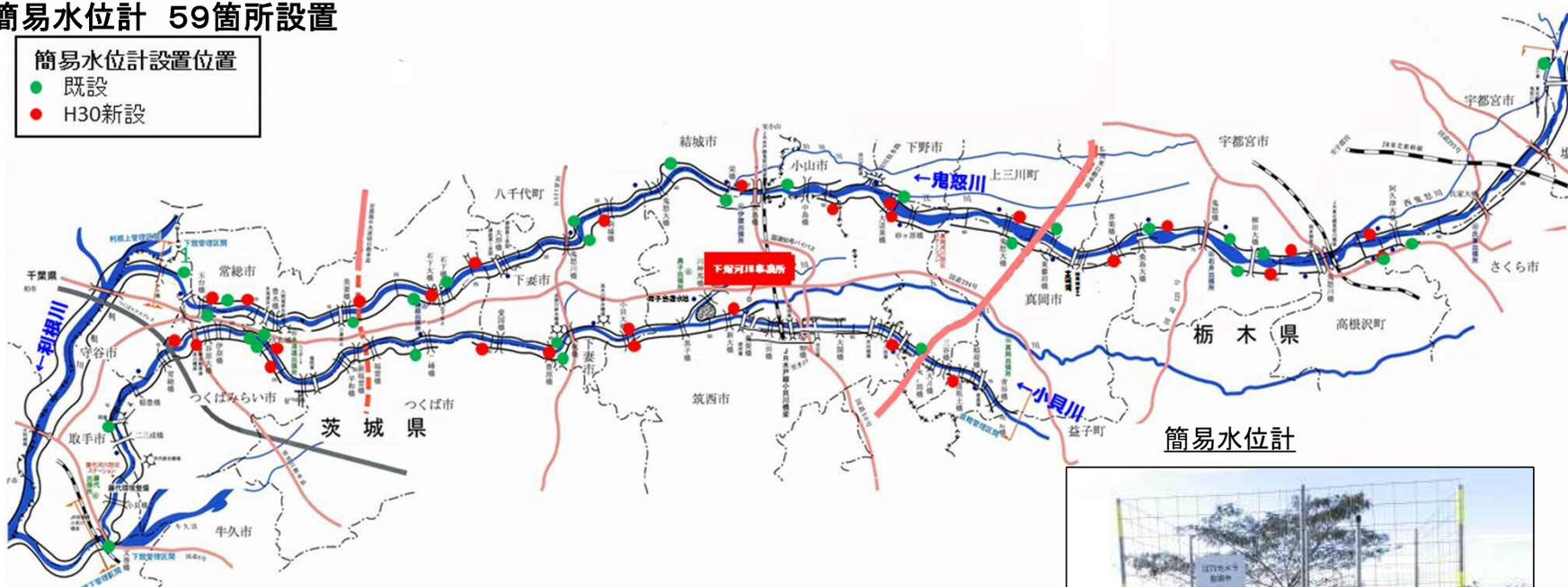
関東地整

関東地整

○ 簡易水位計 59箇所設置

簡易水位計設置位置

- 既設
- H30新設



簡易水位計

簡易水位計観測のデータは、関係市町に提供を行う。
(観測範囲: 堤防天端から約4~5m程度)



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

- 水防災に関する説明会の開催
 - ✓水防災に関する説明会を開催する

【国の取り組み】

関東地整

○デジタルマイタイムラインに関する意見交換会を開催

マイ・タイムラインの作成 (従来からの取り組み)



地域のワークショップや学校の授業によるマイ・タイムラインの作成
洪水ハザードマップによる地域の水害リスクの認識、家族構成や生活環境に合わせた避難のトリガー情報の検討や行動計画の作成を行う。



マイ・タイムラインのイメージ

デジタル
技術と
融合

マイ・タイムラインに基づく行動をスマホで状況確認し、 避難のタイミング等をPUSH通知

マイ・タイムラインを
スマホに登録・状況確認



避難のタイミングで
プッシュ通知!



避難のトリガー等のマイ・タイムラインをスマホで作成。
避難のタイミングになった際は、プッシュ型で情報を受信。



デジタルマイ・タイムライン

従来の紙によるマイ・タイムラインをスマホで登録、状況確認を出来るようにしプッシュ型の避難通知を受信できるようにするもの

実施日 令和3年11月21日(日)
使用アプリ Yahoo防災アプリ

常総市の自治防災組織及び防災士の方々にご協力いただき実施。アプリインストール及び避難情報の登録をしていただき、アプリの有用性や改良点等を議論していただいた。アプリについては有用性を指摘する方が多かった。改善点や実装した方が良い機能等の意見が多く出され、有意義な意見交換会となった。

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●出前講座等を活用した講習会の実施

✓出前講座等を活用し、水防災意識を高めるための講習会を実施する。

【国の取り組み】

関東地整

『八千代町防災士を対象としたマイ・タイムラインリーダー認定講座を実施』

【概要】八千代町在住の防災士の方を対象としたマイ・タイムラインリーダー認定講座を実施。

【開催日時】令和3年7月15日（木）

【講師】河川情報センター



『自治体職員向けマイ・タイムラインリーダー認定講座（オンライン）を開催』

【概要】関係自治体のマイ・タイムライン講師育成を目的とした自治体職員向けリーダー認定講座を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、オンライン（ZOOM）で実施。

【開催日時】令和3年9月8日（水）

【講師】河川情報センター



講座の様子

1) ハード対策の主な取組

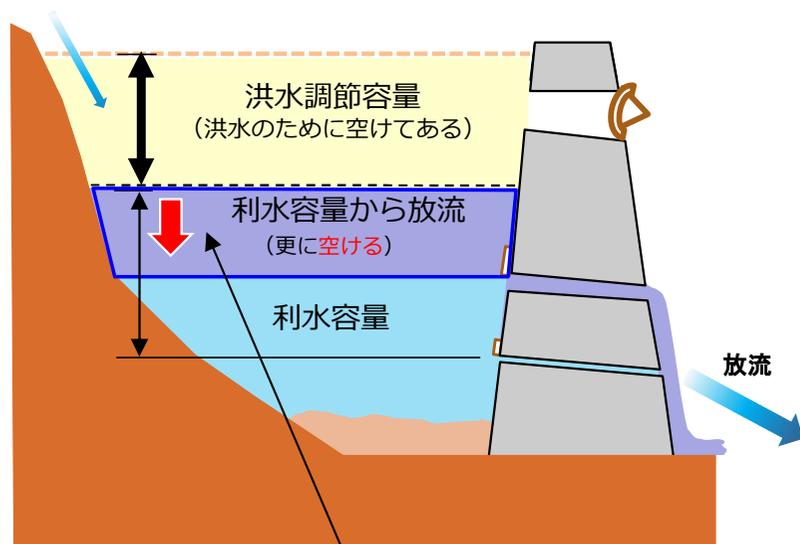
■ダム等の危機管理型の運用・ダムに係る情報提供について

事前放流の実施による治水容量の増強及び
鬼怒川4ダムの放流情報をイラストとライブカメラ映像で提供。

令和3年度の取組状況

【事前放流】

大規模な洪水が予想される場合に、ダムに通常確保している洪水調節容量に加え、水利用のための利水容量の貯水を放流して、一時的に洪水調節容量に利用する取り組みを鬼怒川では13ダムで実施。



利水容量を一時的に使用

■詳しくは、鬼怒川ダム統合管理事務所ホームページをご確認ください。
<https://www.ktr.mlit.go.jp/kinudamu/kinudamu00729.html>

鬼怒川4ダムのリアルタイム情報が確認できます。

<https://www.ktr.mlit.go.jp/kinudamu/>

鬼怒川ダム統合管理事務所HP トップページ

令和3年より
“緊急放流”を使用



平成13年9月台風15号 川治ダム異常洪水時防災操作
最大放流量553 m^3/s (計画放流量400 m^3/s)

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ハザードマップの作成・周知等

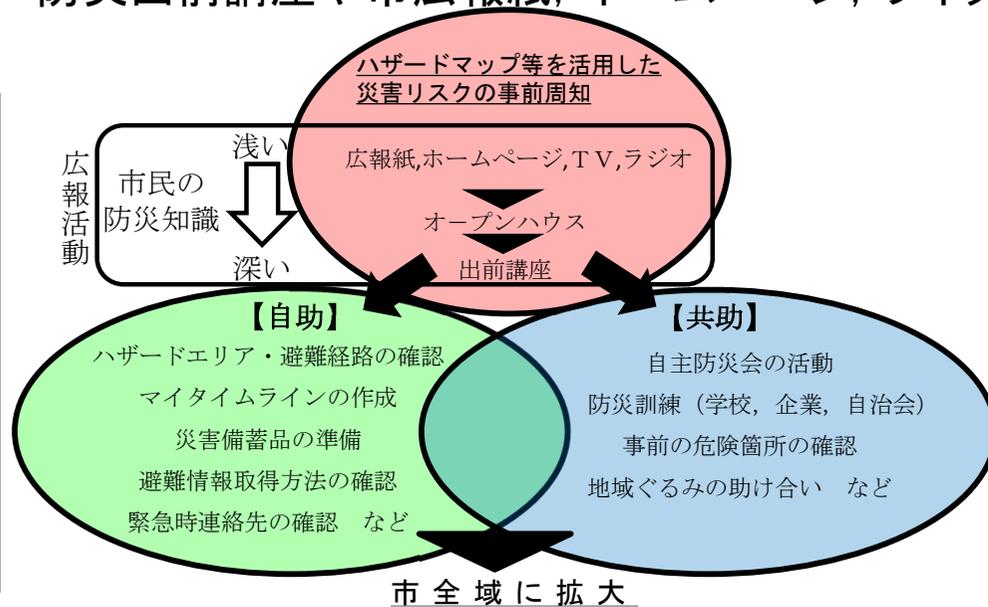
●洪水ハザードマップの作成及び周知

✓ハザードマップの改訂版を作成し、地元説明会やパネル展等による周知啓発を実施

令和3年度の取組状況

○ 大型化した台風などによる河川の氾濫に際し、市民の的確かつ迅速な避難行動につなげることを目的に、浸水区域に該当する全戸にハザードマップを配布したほか、地元説明会や各種広報活動等を通じ災害リスクについて市民に広く周知啓発を行った。

- 2021年 5月 洪水ハザードマップ改訂版(以下、「改訂版」という)を公表
- 2021年 6月 各地区市民センターにて改訂版を配架
- 2021年 6月～8月 連合自治会に説明会を実施(11地区)
- 2021年 7月～8月 対象区域住民に改訂版を全戸配布
- 2021年 8月～9月 「総合治水・雨水対策に関するパネル展」開催(市有施設5か所)
- 年間を通じて 防災出前講座や市広報紙, ホームページ, ツイッター等による周知啓発



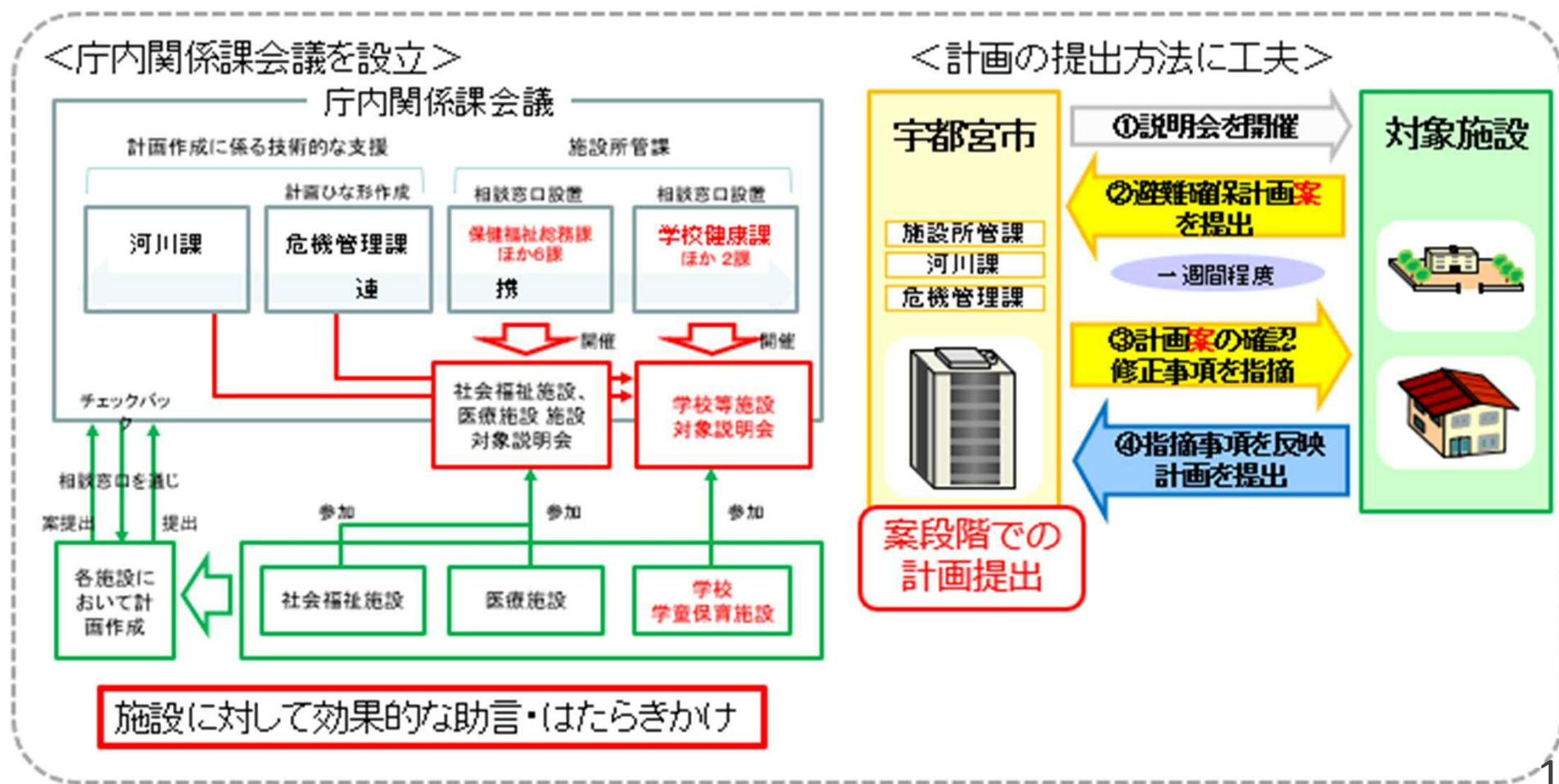
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ハザードマップの作成・周知等

- 要配慮者利用施設の避難計画の検討・作成及び管理者への周知・啓発

令和3年度の取組状況

- 関係部局が連携し、要配慮者利用施設への避難確保計画の作成・報告の支援体制を構築している。
- ハザードマップの拡大等により、新たに対象となった施設について作成指導中。



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●水防災に関する説明会の開催

令和3年度の取組状況

- 各種団体や地域住民に対し、風水害対策に関する防災出前講座や研修・訓練等を実施
【内容】災害対応に関する地域との連携、マイタイムラインの作成講座 など
- ※ 合計27回, 922名



1)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●水防訓練の実施

令和3年度の取組状況

○新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮し、訓練規模を縮小するとともに、一昨年の台風対応を踏まえ、住宅への浸水防止などの基本的な水防工法を学べる講習会形式として、令和3年7月10日(土)に訓練を実施した。

参加人員 消防局 37名 消防団 全26分団 164名 計201名

【積土のう工法】

【簡易水防工法(住宅への浸水防止)】



2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 自主防災組織の促進及び支援等の検討

令和3年度の取組状況

- 自主防災会連絡会議を令和3年7月14日(水)に実施した。
【議事】・災害対策基本法の開設に伴う避難情報の変更について
・洪水・土砂災害ハザードマップの改訂について
- 地域まちづくり推進協議会全体会議を令和3年9月24日(金)に実施した。
【議事】・「宇都宮の防災」について
・意見交換会(研修会の感想, 各地域での備え 等)
- 全39地区の各自主防災会に防災・安全対策に関する映像資料(DVD)を配布し, 自主防災会役員や防災リーダーを対象とした研修を実施した。



1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化
✓ 浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化

令和3年度の取組状況

令和3年度の市役所新庁舎建設において、災害時に活動拠点施設として機能を維持できるように免震構造とし、停電時における災害対応業務に72時間対応できる非常用自家発電設備を屋上に設置完了しました。



また、新庁舎6階に災害対策本部室を設け、災害時における気象や河川情報等を収集し、スクリーン等に表示することで情報を共有、迅速な市民への避難情報等の発信が自動で出来るシステムを構築しました。

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

- 小中学生を対象とした防災教育の実施及び教員へのサポート
 - ✓防災学習教材を活用した小学生対象の防災学習の実施と教職員向け研修会の開催

令和3年度の取組状況

小学生を対象とした防災教育の実施

- 「防災宿泊学習」の代替として、会場の候補小学校で出前授業の形で防災学習を実施しました。
 - 【期日】 令和3年7月9日(金) 【会場】 小山市立下生井小学校 【対象】 全学年
 - 【内容】 発達段階に応じて防災への意識を高められるよう学習内容を工夫
 - 4～6年生:水害の起こり方や地域の水害の危険性、避難するための準備等についての学習
マイ・タイムラインづくり体験(下館河川事務所作成資料を参考)
 - 1～3年生:防災クイズや防災グッズづくり体験

ハザードマップで確認しよう

ワークシートには、このような記入ができましたね。

タイムラインづくり体験コーナー

いつ、どのように行動するのか、シールを貼ったり、書き込んだりしてみましょう。

チャレンジ 防災(ぼうさい)クイズ

Q1 大雨でこうずいがおきそうなときに、ひなんする場所としてたっだしいのはどっち？

1. 高いビルの上
2. かんじょうな地下しつ

1

作ってみよう 防災グッズづくり①



教職員を対象とした研修会の開催

- 教職員の防災意識を高め、各校の防災教育の改善・充実を図ることを目的に防災教育セミナーを開催しました。
 - 【期日】 令和3年6月18日(金) 【会場】 小山市文化センター小ホール 【対象】 市内教職員
 - 【内容】 講話:「学校安全と防災教育」 講師:常葉大学大学院環境防災研究科 教授 重川希志依 氏 16

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

- 出前講座等を活用した講習会の実施
- ✓洪水ハザードマップの活用について

令和3年度の取組状況

○洪水ハザードマップを用いて、マップの見方・使い方、災害に対する備え・心構え、令和元年東日本台風における被害状況について、出前講座を実施しました。

令和3年 11月 2日(火) 小山第一小学校6年生 43名



「新型コロナ感染拡大防止のため未実施」

令和3年	8月 7日	豊田公民館	高齢者学級	30名
令和3年	9月17日	穂積公民館	高齢者学級	30名
令和4年	1月31日	男女共同参画推進協議会		12名

2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●水防団同士の連絡体制の確保

✓近隣市町の水防団長間で電話等による連絡体制を構築している。

令和3年度の取組状況

○ 令和3年度において、連絡手段の確保としてデジタルランシーバー等を配備しています。



デジタルランシーバー



特定小電カトランシーバー

○ 風水害時の活動に備え、通信機器(消防団車両車載無線機及びデジタルランシーバー)を使用した無線伝達訓練を実施しました。

※ 日程:令和3年 9月4日(土)

参加者:消防団員88名、消防総務課5名

2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進
 - ✓水防協力団体として栃木県建設業協同組合下都賀支部を指定中

令和3年度の取組状況

- 継続的な取組として、水防協力団体として栃木県建設業協同組合下都賀支部を指定しています。また、小山市は消防団が水防団を兼任しており、消防団協力事業所の中には、大規模災害時(水害を含む)重機や敷地内駐車場等の活用が可能な協力体制をとる事業所が含まれています。

消防団協力事業所数 51事業所
(令和3年4月1日現在)

令和3年度新規協力事業所

1. 株式会社 長工業
2. 有限会社 青木電機
3. 株式会社 大河原塗装工業
4. 北関東フジクリーン管理 株式会社
5. 株式会社 大出電機
6. 虎屋電気 株式会社
7. 株式会社 乃木鈴建設産業
8. 株式会社 船田土木



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

- 真岡市防災リーダーの育成
 - ✓地域の防災リーダーへマイ・タイムライン作成講座を実施

令和3年度 of 取組状況

○地域における防災力の向上と自主防災組織活性化のために活躍できる人材の育成を図ることを目的として「真岡市防災リーダー養成研修」を実施した。

カリキュラムの1つにマイ・タイムライン作成講座を設定し、市職員がマイ・タイムライン作成のリーダーとなり、受講者に対して、水害時におけるリスクへの理解や防災意識の高揚に努めた。

実施日程

令和3年10月16日(土) 受講者 17名



1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

防災行政無線の改良、戸別受信機の配布

令和3年度の取組状況

防災行政無線による情報伝達をさらに充実させるため、既設の防災行政無線のスピーカの付替・追加を実施し、音達域の改善を行った。

また、戸別受信機の受信状況が悪い箇所については、随時外部アンテナの取付を行い、受信状況の改善を行った。

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ハザードマップの作成・周知等

水害リスクハザードマップを作製

令和3年度 of 取組状況

栃木県の管理河川(中川、江川)について、浸水リスク想定図が作成された。浸水リスク想定図を基に水害リスクハザードマップとして既存のハザードマップとは別に作成し、令和3年度末に完成予定。令和4年度に各戸に配布予定。

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

集中豪雨を想定した水害対応タイムラインの作成

令和3年度 of 取組状況

市内の水位観測所の水位レベルに応じたタイムラインを作成、
令和3年度中に完成予定。

1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○ 防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備

令和3年度の取組状況

○ 防災行政無線の戸別受信機貸出を実施

防災無線子局より500m以上離れているなど一定条件を満たす世帯から申請により無償貸与



戸別受信機

防災行政無線戸別受信機をお貸しします

防災行政無線の放送内容を屋内で確認できる戸別受信機を、以下の方へ無償でお貸しします。

【戸別受信機貸与対象者】

市内の無線スピーカーより概ね半径500メートルの範囲外にお住まいの方や、75歳以上の高齢者のみの世帯、障がいをお持ちの方、自主防災組織の代表者など

※詳しい条件についてはお問い合わせください

無償貸与を希望される方は、電話にてお問い合わせください。

問い合わせ先 総務課 681-1111

※スピーカーから半径500メートル以内で対象にならない方は、下記電話番号にて最新の放送内容が確認できますのでご利用ください。

放送内容確認電話

- 固定電話から
0120-396-889
- 携帯電話から
028-681-6711

令和3年12月に避難行動要支援者に周知

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○出前講座等を活用した講習会の実施

令和3年度の取組状況

○行政区長を対象とした防災講話の実施

- 実施日時 : 令和3年11月10日
 - 参加対象 : 自治会の区長
 - 参加人数 : 約50名
- 主な研修内容
 - ・自主防災組織について
 - ・地区防災計画について
 - ・我がまち防災マップについて



当日資料(一部抜粋)



当日写真

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

○出前講座等を活用した講習会の実施

令和3年度の取組状況

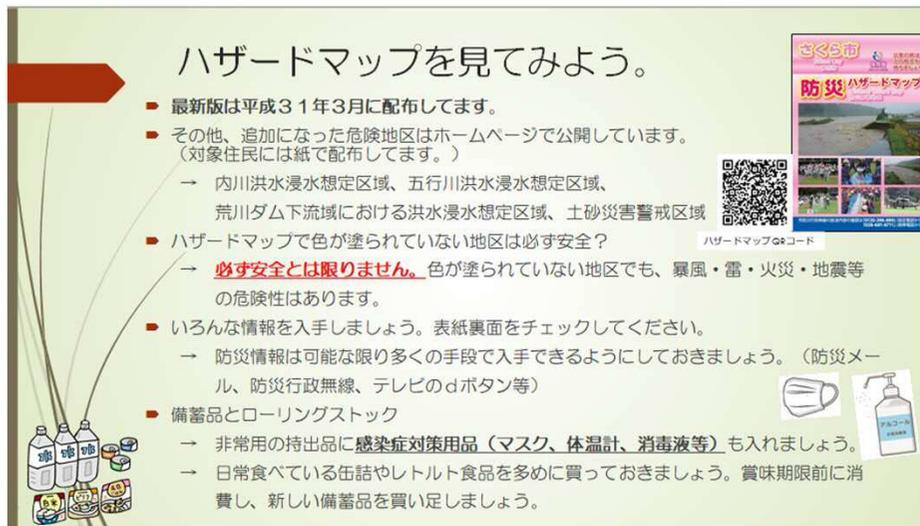
○民生委員を対象とした防災講話の実施

- 実施日時 : 令和3年5月11日～13日
- 参加対象 : 民生委員
- 参加人数 : 約80名
- 主な講演内容
 - ・想定される災害について
 - ・ハザードマップについて
 - ・避難所について

ハザードマップを見てみよう。

- 最新版は平成31年3月に配布しています。
- その他、追加になった危険地区はホームページで公開しています。
(対象住民には紙で配布しています。)
 - 内川洪水浸水想定区域、五行川洪水浸水想定区域、荒川ダム下流域における洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域
- ハザードマップで色が塗られていない地区は必ず安全？
 - **必ず安全とは限りません。**色が塗られていない地区でも、暴風・雷・火災・地震等の危険性はあります。
- いろんな情報を入手しましょう。表紙裏面をチェックしてください。
 - 防災情報は可能な限り多くの手段で入手できるようにしておきましょう。(防災メール、防災行政無線、テレビのdボタン等)
- 備蓄品とローリングストック
 - 非常用の持出品に**感染症対策用品(マスク、体温計、消毒液等)**も入れましょう。
 - 日常食べている缶詰やレトルト食品を多めに買っておきましょう。賞味期限前に消費し、新しい備蓄品を買い足しましょう。

ハザードマップQRコード



当日資料(一部抜粋)



当日写真

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

○宇都宮大学と協働による避難訓練等の実施

令和3年度の取組状況

○宇都宮大学と協働で自主防災組織の避難訓練等を実施

- ・ 実施行政区:喜連川中央行政区自主防災組織
- ・ 内容: 緊急時の連絡網の確認、避難訓練、黄色いハンカチ作戦(宇都宮大学「地域プロジェクト演習」の学生が黄色いハンカチ作戦のリーフレットを作成。)
- ・ 参加者: 自主防災組織、消防団、地域住民



リーフレット(一部抜粋)



当日写真



※ 黄色いハンカチ作戦
避難をする際に自宅の玄関に黄色いハンカチ等の黄色い物を掲げること

2) ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

○防災図上訓練、情報伝達訓練の実施

令和3年度の取組状況

- 開催日時: 令和3年6月16日
- 実施機関: さくら市、要配慮者利用施設等)
- 訓練参加者: 18人(図上訓練)、10人(避難訓練)
- 主な訓練内容
 - ・災害対策本部防災図上訓練
 - ・要配慮者施設へ情報伝達・避難訓練
- 訓練で工夫した点
 - ・ブラインド方式による実践的な訓練の実施
 - ・土砂災害警戒区域内の要配慮者施設へ情報伝達
 - ・施設による市からの情報と連携した避難訓練



要配慮者施設避難訓練



災害対策本部図上訓練

1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備
- ✓ 防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備

令和3年度の取組状況

○令和元年度より、防災ラジオの有償配布のほか、市内に住所を有する80歳以上の方のみで構成する世帯などに対し、申請により無償貸与を実施している。



防災ラジオの配布について

■ 問い合わせ先 安全安心課 ☎(32)8894

無償の貸し出し

次の方には無償で貸し出します。

○市内に住所を有する80歳以上の方のみで構成される世帯、視覚障がい1・2級の方、自治会長、民生委員・児童委員、消防団幹部ほか

■ 貸出方法 対象者の方に別途通知します

販売

■ 対象者・価格

○市内に住所を有する方・市内に事業所等がある方
1台につき5,000円

○市内に住所を有する75歳以上の方のみで構成される世帯

1台につき2,000円

※年齢確認のため、公的機関の発行した身分証明書をお持ちください。

■ 販売場所 安全安心課

■ 販売開始日 12月10日(火)



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ハザードマップの作成・周知等

- ハザードマップの作成・周知
 - ✓洪水ハザードマップの作成・周知

令和3年度 of 取組状況

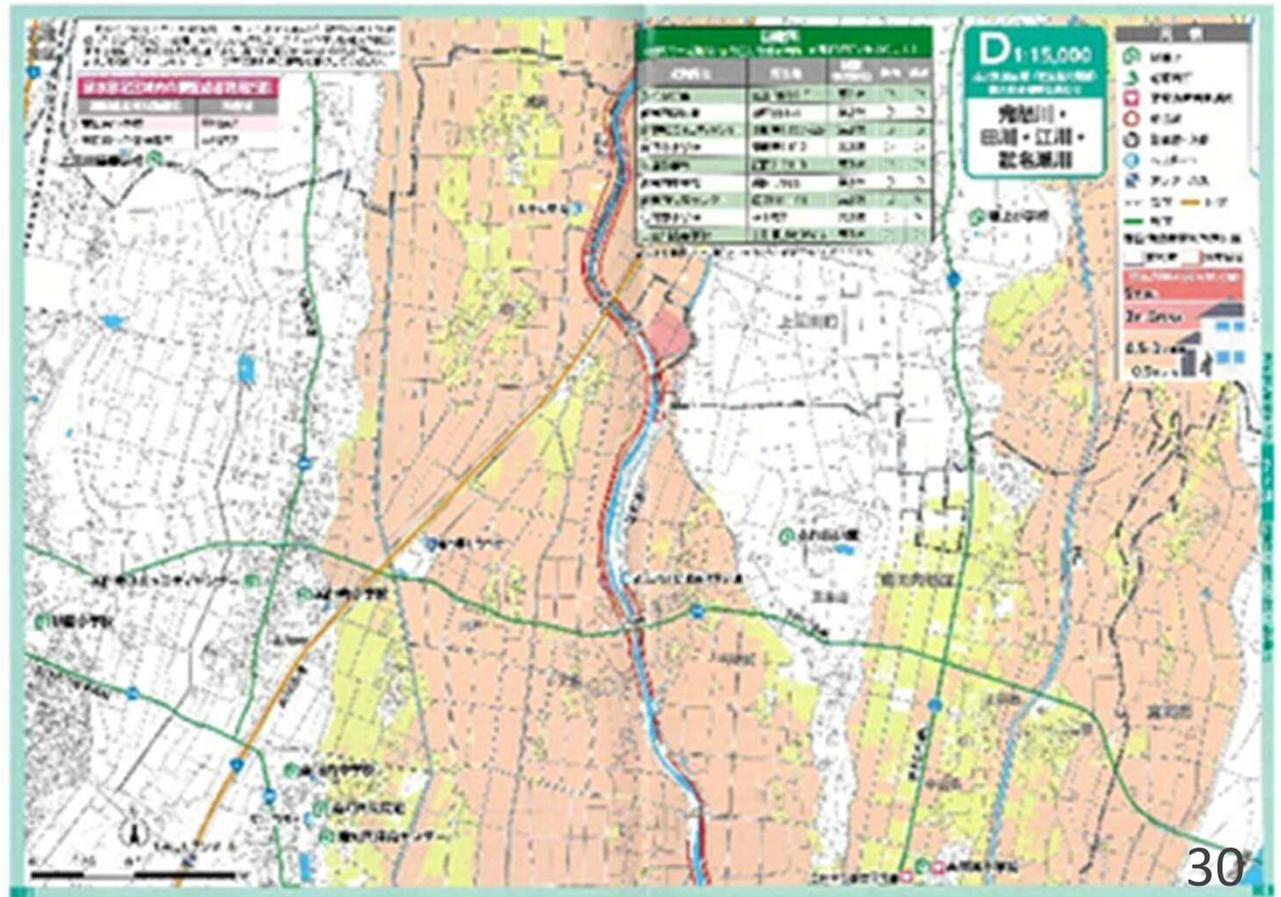
○令和3年8月に下野市洪水ハザードマップの改訂を行った。これまでの思川、黒川、姿川、田川、鬼怒川及び田川放水路に加え、新たに県で見直しを行った新川、武名瀬川、江川の浸水想定区域(想定最大規模)を加えている。

下野市 洪水ハザードマップ
Shimotsuke City Flood Hazard Map

はじめに	P1
下野市に影響する河川	P2
洪水の要因と浸水想定区域	P3 / P4
マイ・タイムライン	P5 / P6
浸水想定区域マップ	P7 / P30
浸水脆弱建物マップ	P31 / P34
日ごろの災害への備えと災害後の対応	P35
Jアラートによる緊急情報と自主防災組織	P36
避難所での注意事項	P37
情報の伝達と入手先	P38

下野市公式ホームページ
とろろリアルタイム用紙の活用(浸水想定区域)の活用(浸水)
防災文庫の閲覧
メール配信サービス
下野インフォメーション
下野市公式Twitter
NITR(国土交通省)防災ダイヤル(1171)

下野市 保存版 令和3年8月作成



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●ハザードマップの訓練等への活用

✓ハザードマップを活用した自主防災組織等による避難訓練の実施

令和3年度の取組状況

○田川の水量が増水し、警戒レベル3になったと想定し、河川流域の地区(東田中地区・東根地区・塚越地区・谷地賀上地区)を対象に、避難訓練及び避難所開設訓練を実施した。

実施日:令和3年11月21日(日)午前9時から正午まで

場 所:南河内公民館(第2避難所) 下野市田中681-1

参加者:東田中自治会	10名	東根自治会	10名
塚越自治会	10名	谷地賀上自治会	9名
下野市消防団	6名	避難所担当職員	8名
報道(FMゆうがお)	1名	市民生活部長	1名
安全安心課職員	5名	社会福祉職員	2名

合計 62名

- 内 容:①防災講話(下野市洪水ハザードマップに沿って)
 ②訓練内容説明(避難所運営マニュアルに沿って)
 ③避難者受け入れ訓練
 ④資機材取り扱い訓練(段ボールベッド、パーテーション、避難ルーム、簡易ベッド)
 ⑤避難所開設・混雑情報配信サービス(VACAN)ご案内・使用説明
 ⑥質疑応答・アンケート・自主防災組織のご案内



避難者受入訓練の様子

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

●マイタイムライン作成講座の実施

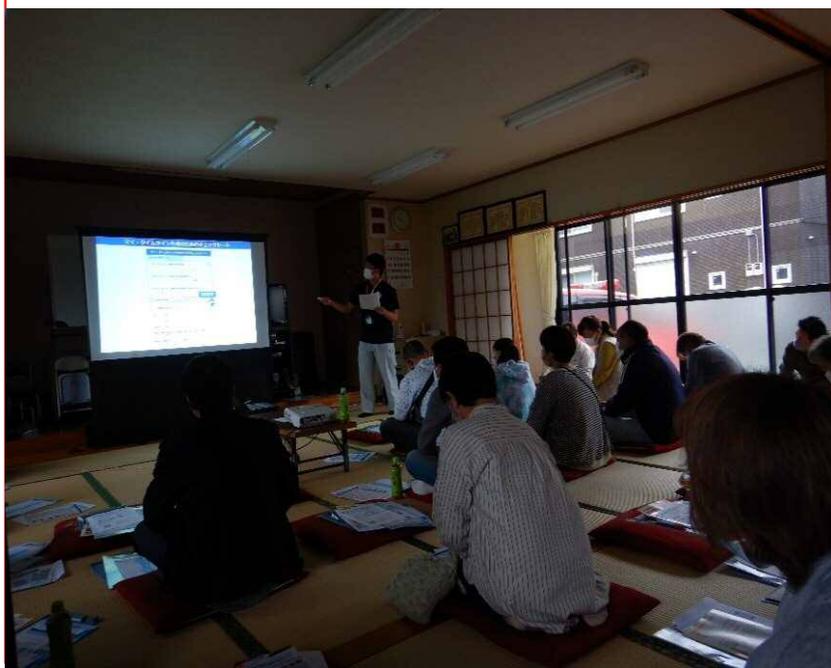
令和3年度 of 取組状況

自主防災組織を対象としたマイタイムライン作成講座を実施し、水害に対する防災知識の普及を行った。

○期日：令和3年10月17日(日)

○場所：願成寺自治会公民館

○参加人数：願成寺自治会自主防災組織 約40名



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

- 自主防災組織を対象とした気象情報研修会

令和3年度 of 取組状況

自主防災組織役員を対象に気象情報に関する研修会を実施した。栃木県の気象災害、防災における気象情報の利活用を学ぶことにより、地域における水防災意識の向上を図ることに繋がった。

- 期日:11月2日(火)
- 場所:役場大会議室
- 参加人数:40名



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

- 水防災に関するパネルを展示

令和3年度 of 取組状況

水防災意識強化週間における集中的な水防災に関する普及・啓発活動の実施した。

期日：9月3日(金)～9月10日(金)

場所：役場町民ホール



2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●災害図上訓練の実施

令和3年度の取組状況

風水害を想定した図上訓練を実施した。訓練では、避難情報の発令や道路冠水、SNS配信等に伴う職員の対応など、様々な状況を付与することで、職員の災害対応力向上を図った。

○期日：令和3年5月12日(水)

○場所：役場中会議室

○参加人数：30名



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

○自主防災組織の促進及び支援等の検討

✓地域の住民が協力し合う自主防災組織の普及の促進及び支援等の検討の実施

令和3年度 of 取組状況

○地区防災計画策定会議の実施(生田目地区)

■実施日:令和3年3月27日(土)～ 計8回実施

■会 場:益子町大字生田目地内 生田目公民館

・生田目地区の地区防災計画策定を目的とし、会議等を計8回実施

①3/27 地区防災計画の説明・講習

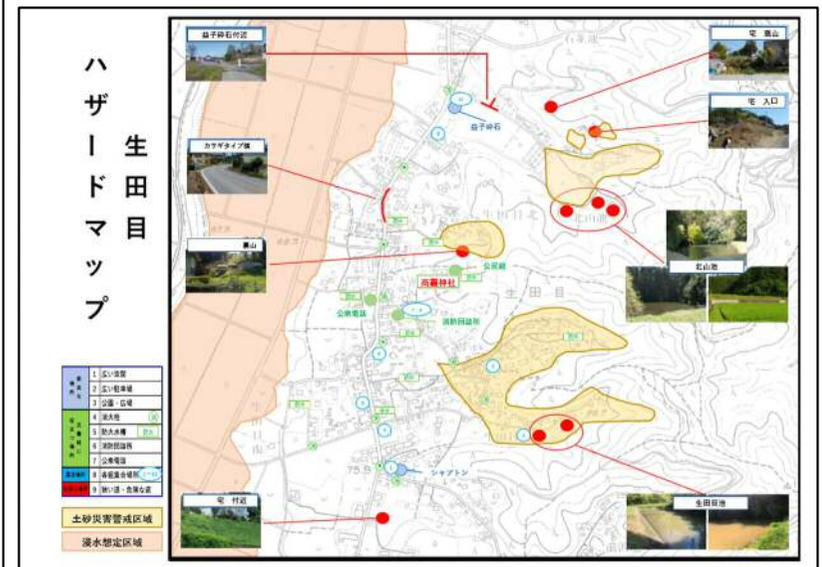
②4/18 まち歩き

③5/22 防災講話

④5/23・6/20・7/18・8/20・9/26

防災マップ・防災計画の作成

生田目地区防災計画

令和3年10月
生田目自治会

2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

・自主防災組織の促進及び支援等の検討

令和3年度の取組状況

芳賀町・自主防災組織合同防災訓練の実施

町・町内全域の自主防災組織とが合同で水害を想定した防災訓練を実施した。

実施日：令和3年10月17日

参加機関：町、町内すべての自主防災組織、町消防団、消防署、真岡土木事務所、町建設業協会、災害時応援協定締結先、県防災士会など



消防団(水防団)による水防工法訓練



自主防災組織での図上訓練

1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備
- ✓ 防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備

令和3年度の取組状況

○ 防災行政無線の屋外スピーカーを補完するシステムの導入(令和2年度)

- ・ 戸別受信機の貸与(今後も継続)
- ・ スマートフォンアプリ、防災メールへの情報配信



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ハザードマップの作成・周知等

●ハザードマップの作成・周知

✓想定最大外力にもとづいた洪水を対象に、洪水ハザードを策定する

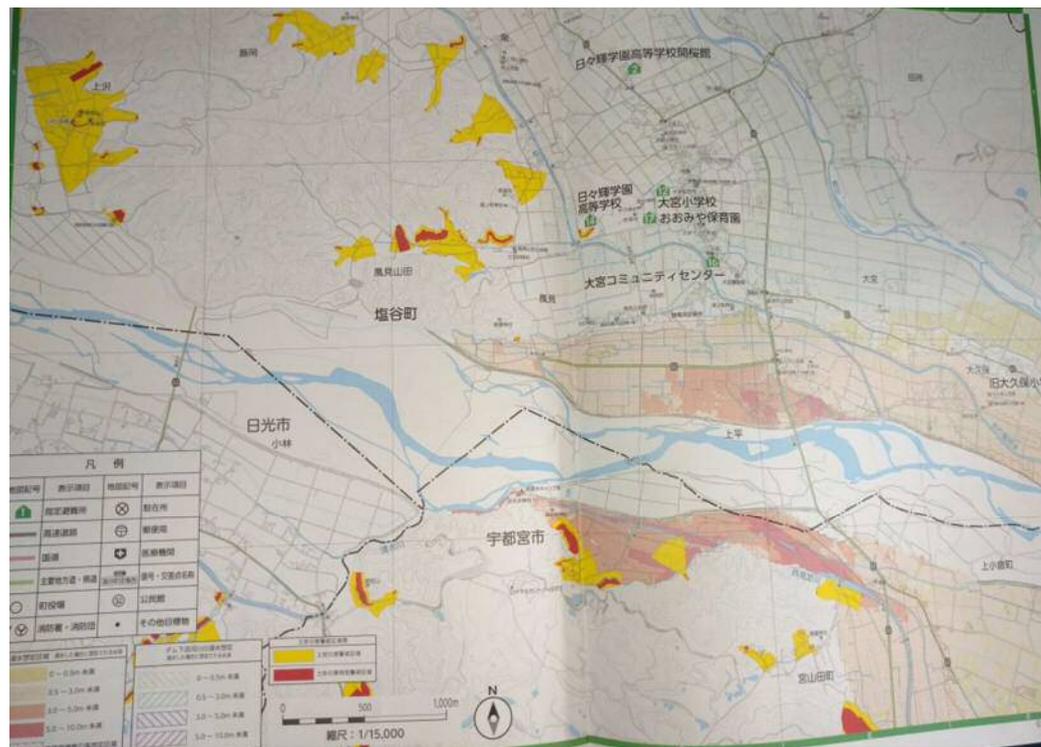
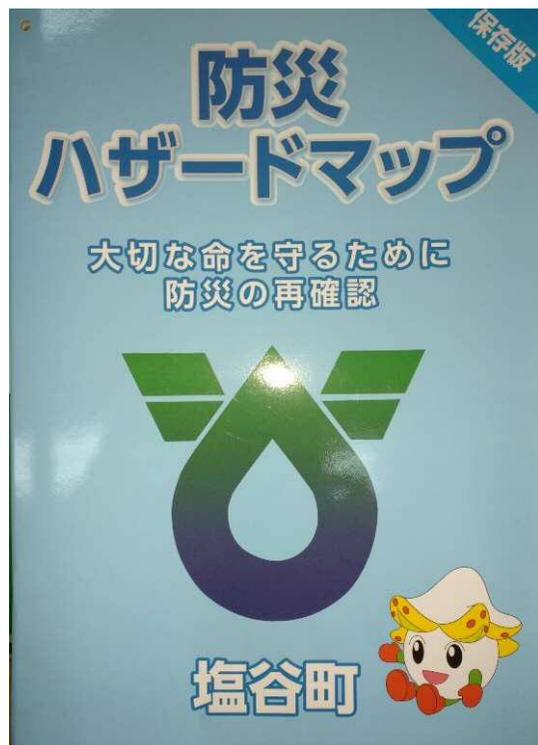
令和3年度 of 取組状況

○防災ハザードマップの作成(令和2年度)、配布(役場、道の駅等)

(・鬼怒川浸水想定区域図

・荒川(県管理河川)の上流部のダム放流時の浸水想定図

・土砂災害警戒区域 等掲載)



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

- 小中学生を対象とした防災教育の実施及び教員へのサポート
 - ✓小中学生を対象に防災教育の実施や授業への組込みの際の教員へのサポートを実施

令和3年度の取組状況

小学校4年生の社会科の授業時に、町の防災対策と題して出前講座を実施

内容

町の過去の災害、ハザードマップ、町の災害対応等

塩谷町の防災について

令和3年10月5日
(10:40~11:25)
船生小 4年生



行政出前講座

塩谷町役場 総務課
地域安全担当



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取り組み

- 水防災意識強化週間における集中的な水防災に関する普及・啓発活動の実施
水防災意識強化週間に水防災に関するパネル展を実施

令和3年度 of 取組状況

パネル展の実施

令和3年8月28日から9月10日

道の駅湧水の郷しおや



2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検

令和3年度の取組状況

・関係機関と重要水防箇所での合同点検の実施

日時 令和3年6月10日
場所 県管理河川等
参加者 県(土木事務所)、
消防署、消防団、
建設業協会、町



2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●自主防災組織の促進及び支援等の検討

地域の住民が協力し合う自主防災組織の普及の促進及び支援等の検討の実施

令和3年度の取組状況

- ・自主防災組織の設立時の資機材補助金の継続
- ・組織の維持に関する補助事業

訓練、資機材の維持等に要する経費
上限3万円



1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 避難所間の情報ネットワークを利用した訓練。
戸別受信機の無償貸与等により避難行動の促進。

令和3年度の取組状況

○令和3年3月に整備した町役場と町内16カ所ある指定避難所で情報ネットワークを利用した災害対応訓練を行う予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期しました。

○屋外拡声子局での防災無線の放送に加えて避難行動要支援者に対して戸別受信機を無償貸与しています。避難に時間がかかる方へ情報提供を迅速に行い避難行動を促進します。



無償貸与の戸別受信機

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●逃げ遅れゼロに向けた防災教育

✓町立小中学校の児童生徒を対象に「マイ・タイムライン作成講座」を開催

令和3年度の取組状況

○マイ・タイムライン認定講座を受講した町内の防災士が講師となり、町内の小学5年生と中学1年生を対象に「逃げキッド」を使用した「マイ・タイムライン作成講座」を開催。来年度も開催予定。

令和3年7月7日	町立中央小学校5年生対象
令和3年7月13日	町立上高根沢小学校5年生対象
令和3年7月13日	町立北高根沢中学校1年生対象
令和3年7月16日	町立北小学校5年生対象
令和3年7月19日	町立阿久津小学校5年生対象
令和3年11月11日	町立阿久津中学校1年生対象
令和3年11月22日	町立東小学校5年生対象
令和3年12月3日	町立西小学校5年生対象



1) ハード対策の主な取組

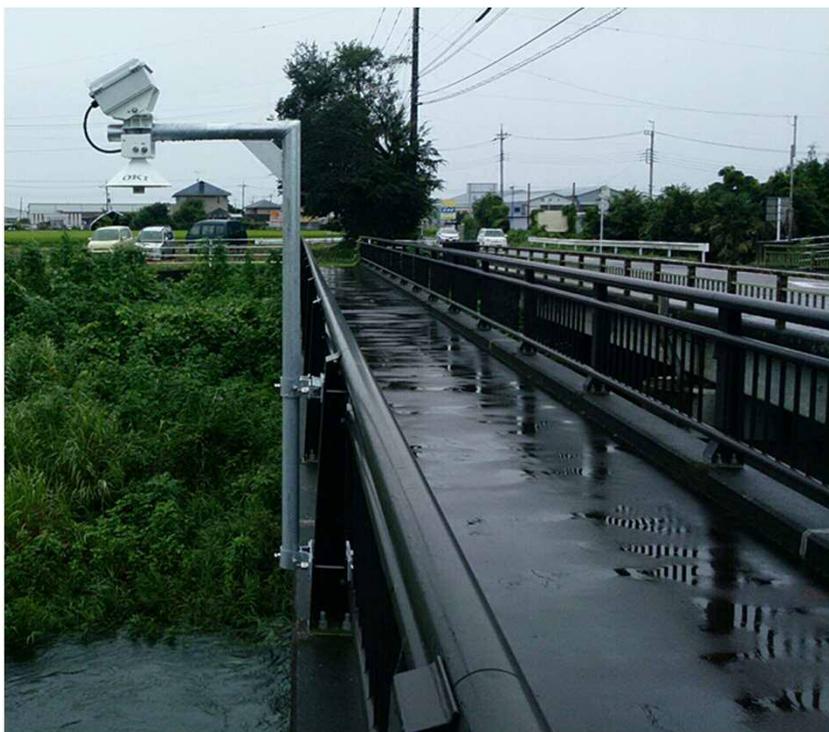
■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラの設置
 - ✓ 洪水時の河川監視体制の強化

令和3年度の取組状況

○ 危機管理型水位計

洪水時のみの観測に特化した危機管理型水位計を設置し、きめ細かく水位観測をすることにより、洪水時の河川監視体制の強化を図り、住民の防災行動に役立てる。
今年度は、姿川(下野市)を含む19箇所に設置した。



一級河川姿川 関沢橋 (下野市上古山)

○ 簡易型河川監視カメラ

常設水位計や危機管理型水位計等の水位情報に加え、画像情報が乏しい中小河川に簡易型河川監視カメラを設置することで、洪水時の河川監視体制の強化を図り、住民の防災行動に役立てる。
今年度は、野元川(芳賀町)を含む29箇所に設置した。



一級河川野元川 野元橋 (芳賀町東水沼)

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

- 水防災意識強化週間における集中的な水防災に関する普及・啓発活動の実施
 - ✓水防災に関するパネル展示及び「逃げなきゃコール」広報動画の電子看板による掲示

令和3年度の取組状況

○水防災に関するパネル展示

栃木県庁本館15階ロビーにて、水防災意識強化週間に係るパネルの展示や、栃木県が作成した「とちぎの川パンフレット」「緊急速報メールに関するチラシ」等を設置し、水防災に関する普及・啓発活動を実施した。

○「逃げなきゃコール」広報動画の電子看板による掲示

国土交通省が推進している、離れた地域に住む家族へ避難を呼びかける「逃げなきゃコール」の広報動画を、栃木県庁本館1階ロビー及び15階ロビーにて、電子看板による掲示を行い、県民へ取組を周知した。



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

- 出前講座等を活用した講習会の実施
- ✓県政出前講座等の実施

令和3年度の取組状況

○県職員が講師となり、学生や防災士を目指す県民を対象に、県の防災・減災に関する取組などについて説明し、防災・減災に対する理解促進・意識啓発等を図った。

2021年 5月	作新学院大学	約80名
2021年 6月	宇都宮大学	約30名
2021年 7月	栃木市立大平西小学校	約70名
2021年 7月	防災士養成講座	約60名
2021年 9月	宇都宮大学	約20名
2021年 9月	白鷗大学	約100名
2021年 12月	作新学院大学	約50名
2022年 2月	防災士養成講座	約60名



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

- ハザードマップの訓練等への活用
- ✓地区防災計画の策定の促進

令和3年度 of 取組状況

ハザードマップを活用するなど、地域の災害リスクを踏まえて適切な避難行動がとれるよう、県内の自主防災組織等において地区防災計画の策定を促進した。

☞地区防災計画策定促進検討会

計画策定支援に携わる市町の担当職員や防災士等による今後の支援の方向性の検討及び研修
 令和3(2021)年 7月29日(木曜日) 栃木県自治会館(宇都宮市) 参加者:62名

☞地域防災力強化支援補助金

計画策定を行う際の専門家派遣費用を市町へ助成 R3:3地区

☞地区防災計画実践支援事業

計画を策定する際に参考となるツール(マニュアル・事例集及び映像教材)を制作



検討会7/29



栃木市吹上地区における策定検討

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

- 地域の防災リーダーの育成
 - ✓とちぎ地域防災アドバイザー防災士養成講座の実施

令和3年度 of 取組状況

自主防災組織等で中核的な役割を担う人材を確保するため防災士を養成し、当該防災士をとちぎ地域防災アドバイザーとして登録し、活用することにより、地域防災力の強化を図ることを目的としてとちぎ地域防災アドバイザー防災士養成講座を実施した。

実施日 令和3(2021)年7月17・18日(土曜日・日曜日)

養成者数合計 55名



講座1日目
防災士の役割に関する講義



講座1日目
災害関連情報と予報・警報に関する講義



講座2日目
地震・津波による災害に関する講義

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

- 地域の防災リーダーの育成
- ✓自主防災組織リーダー育成研修会の実施

令和3年度 of 取組状況

自主防災組織等の指導的立場にある方を対象とし、知識、技能を習得していただくとともに、その役割についての自覚を高め、地域における自主防災組織活性化のために活躍できる人材の養成のため、講演やグループワークを実施した。

- 第1回 令和3(2021)年 9月22日(水曜日)キョクトウとちぎ蔵の街楽習館(栃木市)
- 第2回 令和3(2021)年10月 4日(月曜日)上三川いきいきプラザ(上三川町)
- 第3回 令和3(2021)年10月17日(日曜日)矢板公民館(矢板市)
- 第4回 令和3(2021)年11月12日(金曜日)キョクトウとちぎ蔵の街楽習館(栃木市)

参加者 合計181名



←第2回 研修会
演習(気象庁DIG)



←第3回 研修会
防災に関する講演

2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 自主防災組織の促進及び支援等の検討
 - ✓自主防災組織の促進及び支援

令和3年度の取組状況

地域住民が協力し合う自主防災組織の普及の促進及び支援等を実施した。

○ 自主防災組織設立事業

自主防災組織活動カバー率が100%未満である市町を対象に、有識者による講演会、研修会等を実施するための経費を補助することで、防災意識の高揚、自主防災組織への理解促進等を図った。

自主防災組織設立講演会の開催

日時等 令和3(2021)年12月18日(土曜日) 栗野コミュニティセンター(鹿沼市)

参加者:70名

○ 地域防災力強化推進事業補助金(自主防災組織強化推進事業)

県内自主防災組織の育成や、防災資機材等の整備に関する市町の経費の一部に補助金を交付し、自主防災組織の強化を図った。

・令和3年度実績

交付決定 18市町 計8,325千円

補助金対象防災資機材(例)→



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

- 短時間判断等の上流域の特徴を考慮したタイムラインの更新及び実践的な訓練の検討
 - ✓ 水位の上昇が早いことで限られた時間での避難指示等の判断を行うことが想定され、その特徴を踏まえたタイムラインへの更新、実践的な訓練の検討を行う

令和3年度 of 取組状況

令和3年度栃木県防災図上総合訓練に参加。
想定気象状況として、令和元年東日本台風を利用し、現地災害対策本部（市貝町）と連携した防災対応を行う訓練において気象解説を実施。

日 時: 令和3年7月9日

場 所: 栃木県庁8階(危機管理センター対策室) ⇔ 市貝町



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

- 短時間判断等の上流域の特徴を考慮したタイムラインの更新及び実践的な訓練の検討
 - ✓ 水位の上昇が早いことで限られた時間での避難指示等の判断を行うことが想定され、その特徴を踏まえたタイムラインへの更新、実践的な訓練の検討を行う

令和3年度の取組状況

栃木県が行う「防災気象情報に関する研修会」（令和3年度：栃木県・市貝町防災研修会）において、気象防災ワークショップ（土砂災害編）を実施。
気象庁等から提供される気象情報を適切に使い、的確なタイミングで防災体制の強化や迅速な避難情報の判断・伝達を実施できるよう演習。

日 時：令和3年11月26日（午前・午後）

場 所：市貝町役場

参加者：（グループワーク）市貝町職員（34名）

（スタッフ）県危機管理課（5名） 市貝町（3名） 気象台（4名）



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

- 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)
 - ✓警報等における危険度の色分け表示、「警報級の現象になる可能性」の情報提供、メッシュ情報の充実化

令和3年度 of 取組状況 ■顕著な大雨に関する情報

■線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起

●位置づけ～情報のコンセプト～

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により、非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する「顕著な大雨に関する情報」を提供。

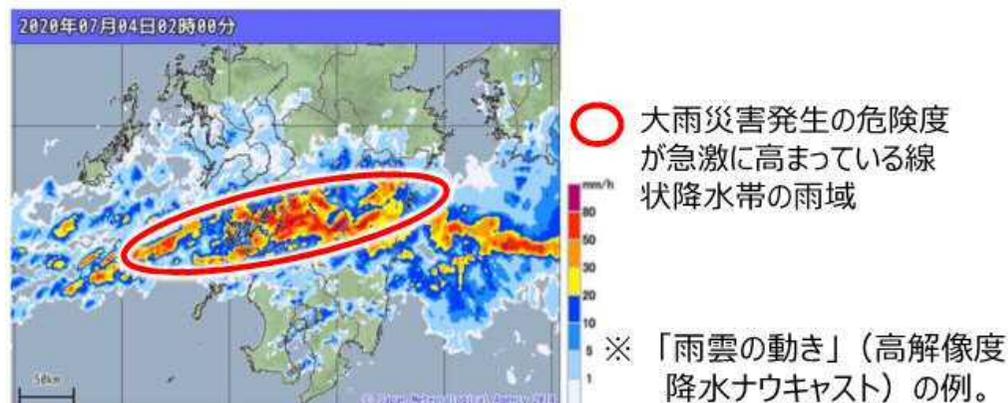
※この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報 = 警戒レベル4相当以上の状況で発表。

顕著な大雨に関する情報の例

顕著な大雨に関する〇〇県気象情報

〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

顕著な大雨に関する情報を補足する図情報の例



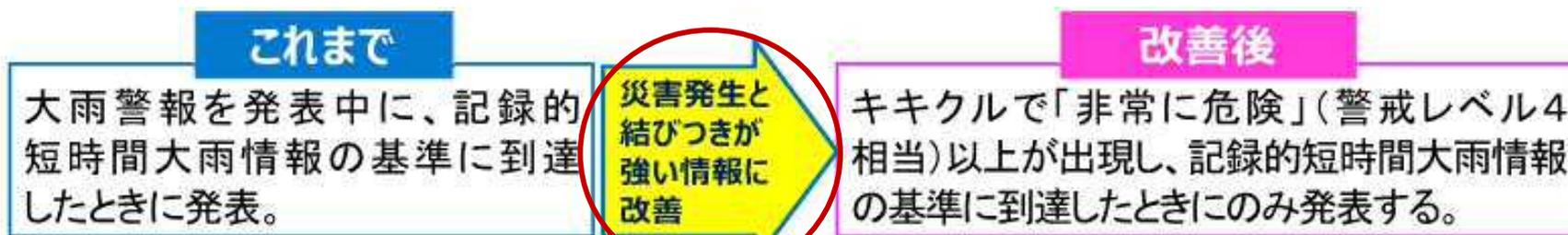
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

- 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)
 - ✓警報等における危険度の色分け表示、「警報級の現象になる可能性」の情報提供、メッシュ情報の充実化

令和3年度の取組状況 ■記録的短時間大雨情報の改善

災害発生危険度が急激に上昇し、速やかな安全確保が必要な状況となっていることを適切に伝えられるように、記録的短時間大雨情報を、当該市町村が警戒レベル4相当の状況となっている場合にのみ発表。



令和元年11月12日の胆振地方の例



「危険度分布」の危険度を発表条件に加えることで、災害発生危険度が急激に上昇し、速やかな安全確保が必要な状況となっていることが伝わるように改善。 56

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

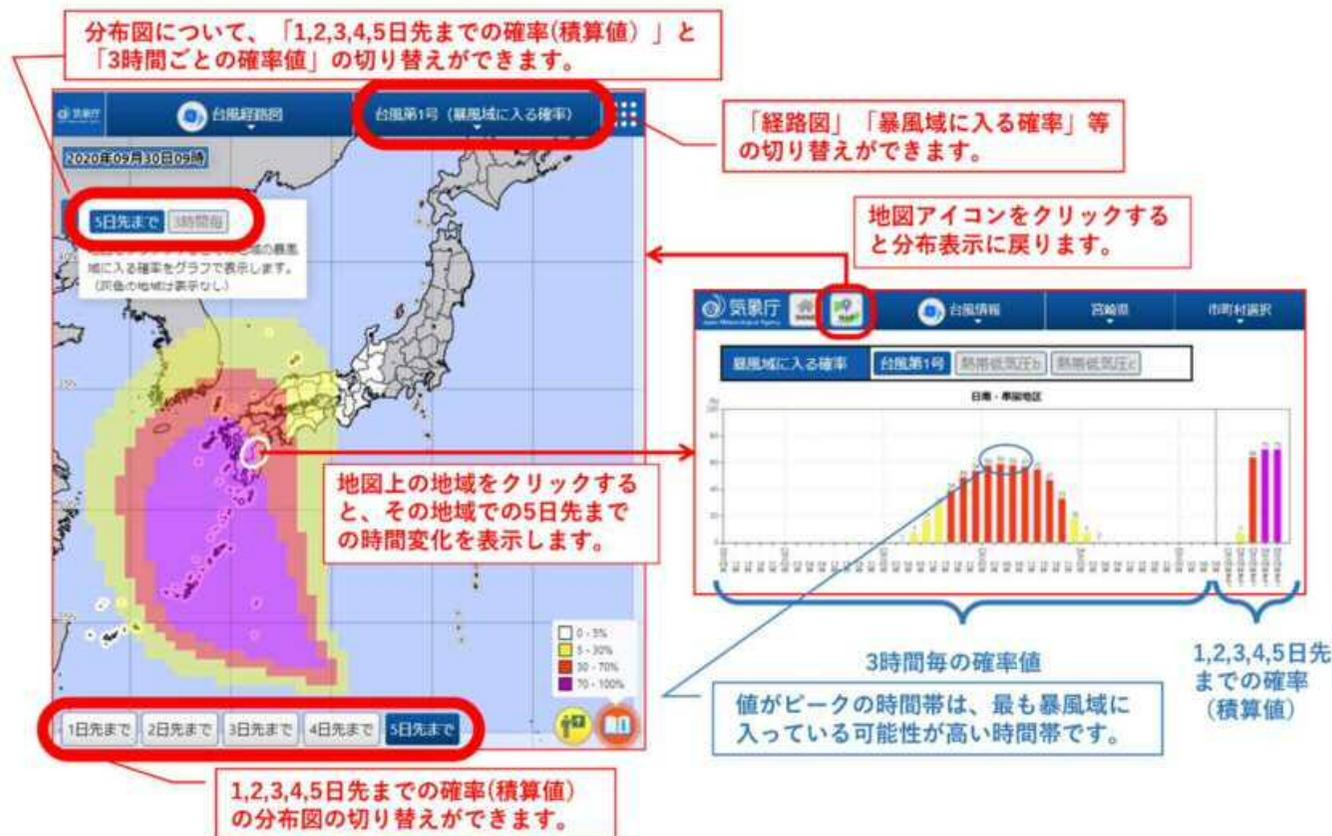
■避難指示の発令に着目したタイムラインの作成

- 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)
 - ✓警報等における危険度の色分け表示、「警報級の現象になる可能性」の情報提供、メッシュ情報の充実化

令和3年度 of 取組状況

■「台風の暴風域に入る確率」の 発達する熱帯低気圧の段階からの提供

「台風の暴風域に入る確率」について、24時間以内に台風が発達すると見込まれる熱帯低気圧の段階から提供。気象庁ホームページのコンテンツ「台風情報」では、台風及び発達する熱帯低気圧について、確率の分布表示(下の表示例の左図)や地域ごとの時間変化(下の表示例の右図)を表示。



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●水防災に関する説明会の開催

✓水防災に関する説明会を開催する

令和3年度 of 取組状況

台風の接近等に伴う影響や防災上の留意事項等について、台風説明会(気象台・県庁)を開催し、関係機関に注意、警戒を呼びかけ解説資料を提供。

(台風第14号から、栃木県関係部局と各市町にはオンラインでの説明を開始)

- ・令和3年7月26日 台風第 8号(気象台・県庁)
- ・令和3年8月 6日 台風第10号(気象台)
- ・令和3年9月17日 台風第14号(気象台・県庁) ※オンライン開催



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

- 小中学生を対象とした防災教育の実施及び教員へのサポート
- ✓小中学生を対象に防災教育の実施や授業への組み込みの際の教員へのサポートを実施

令和3年度 of 取組状況

栃木県教育委員会主催の、とちぎ子どもの未来創造大学の出前講座「体験気象学」において、実験を通じた気象に関する講座を実施。気象庁(気象台)の業務の説明や実験を通して、気象及び防災に関する意識を高めた。

- ・令和3年7月29日 野木町公民館 23名(保護者数名)



中学生の職場体験を受け入れ、体験学習の中で気象庁(気象台)の業務の説明や実験を通して、気象及び防災知識の啓発を実施。

- ・令和3年11月 9日～11日 中学生(4名)
- ・令和3年11月30日～12月 1日 中学生(5名)



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●出前講座等を活用した講習会の実施

✓出前講座等の要望があれば積極的に参加し、防災知識の普及啓発活動等の支援を実施

令和3年度 of 取組状況

自主防災組織の研修会や防災士養成講座に職員を派遣し、防災気象情報の普及啓発を実施。

・上三川町自主防災組織研修

日 時:令和3年11月2日

場 所:上三川町役場

対 象:自主防災組織役員(約40名)

・鹿沼市「防災士養成講座」

日 時:令和4年2月5日

場 所:鹿沼市菊沢コミュニティセンター

対 象:一般(約50名)

2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
- ✓毎年、国が実施している重要水防箇所等の共同点検に参加

令和3年度の取組状況

令和3年度の鬼怒川・小貝川上流域の重要水防箇所等の共同点検に参加。

- ・令和3年6月16日 鬼怒川・小貝川(真岡市) (2名)
- ・令和3年6月22日 鬼怒川(上三川町、小山市) (2名)



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

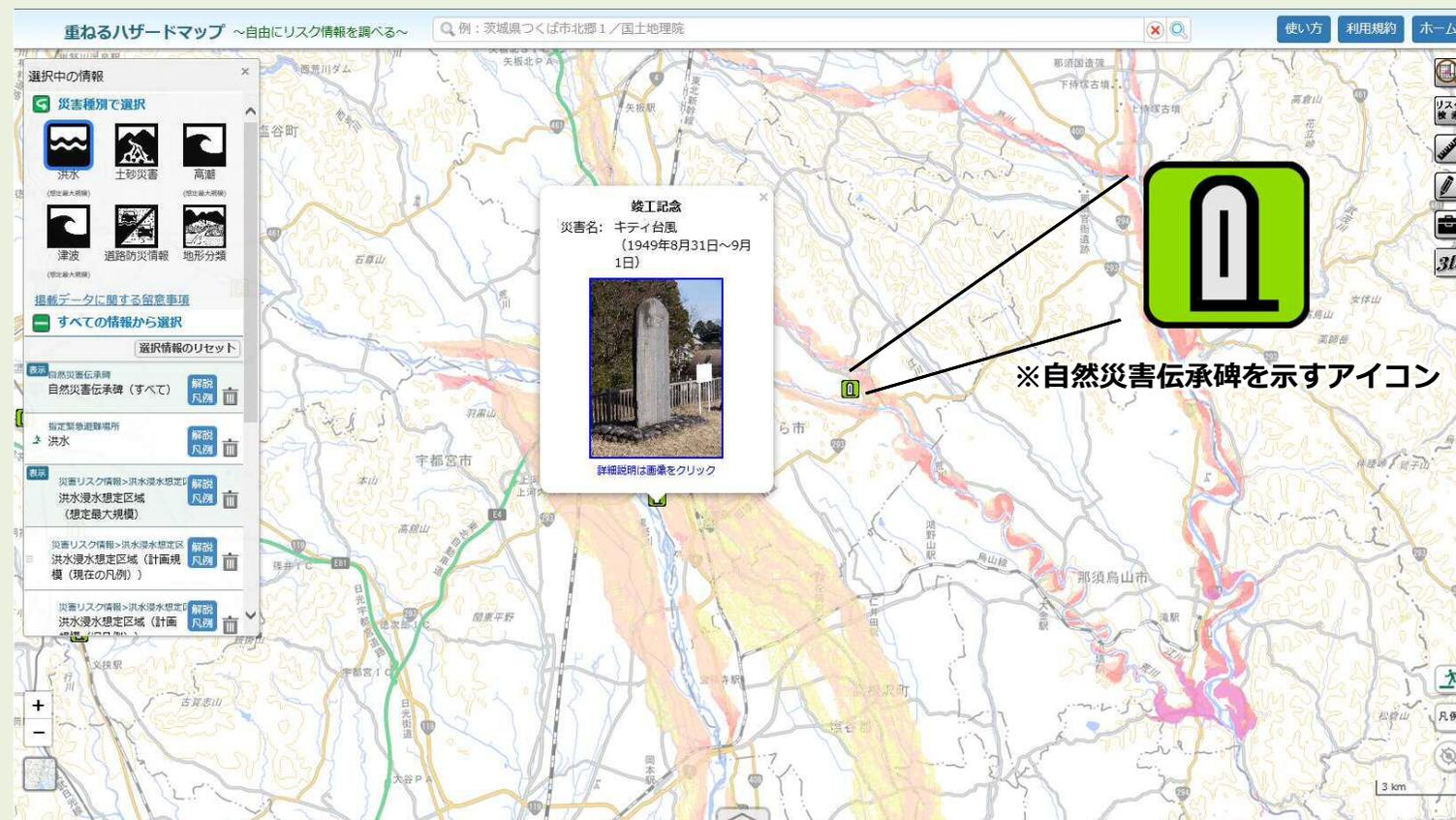
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用
 - ✓ハザードマップの周知のサポートとして、ハザードマップポータルサイトや地図情報を提供する

令和3年度 of 取組状況 **ハザードマップポータルサイトの「重ねるハザードマップ」に自然災害伝承碑を掲載**

「重ねるハザードマップ」に自然災害伝承碑を掲載することで、過去の自然災害を知るきっかけづくりや学校教育や地域学習において活用することが期待されます。

表示イメージ



浸水危険性と先人が伝えてくれた災害履歴、教訓を重ね合わせてハザードマップ上で表示

洪水浸水想定区域とハザードマップ上で重ね合わせ

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

● 水害記録の伝承

✓自然災害伝承碑の情報を「地理院地図」に掲載する

令和3年度 of 取組状況

取組目的

国土地理院では、令和元年度から災害教訓の伝承に関する地図・測量分野からの貢献として、過去の自然災害に関する石碑やモニュメントなど「自然災害伝承碑」を地形図等に掲載しております。これにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。

掲載数

協議会	市町村数	掲載数
上流	1市	2基
下流	3市	15基

令和4年1月14日現在

令和3年度 新規掲載数

協議会	市町村名	掲載数
下流	龍ヶ崎市	2基
下流	取手市	4基

以下、令和4年3月に掲載予定

上流	小山市	2基
下流	つくばみらい市	3基

「自然災害伝承碑の地図化を通じた災害教訓の周知・普及」の取組

表示イメージ

国土地理院では、令和元年6月から「地理院地図」において、全国各地に建立されている自然災害伝承碑に関する情報（位置や伝承内容など）を掲載しています。



概要	
碑名	竣工記念
災害名	キテイ台風 (1949年8月31日～9月1日)
災害種別	洪水
建立年	1950
所在地	栃木県さくら市大中
伝承内容	昭和24年(1949)8月31日から翌9月1日にかけてのキテイ台風により、鬼怒川の堤防が800mに渡って決壊した。濁流に襲われた大中集落は一夜にして鬼怒川の本流のようになった。第2次世界大戦後の5年に満たない間に発生した、4回目となる洪水であった。

ID:09214-001

令和3年度は、栃木県小山市の2基を令和4年3月に掲載予定です。 63

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

- 水防災意識強化週間における集中的な水防災に関する普及・啓発活動の実施
 - ✓水防災意識強化週間に水防災に関するパネル展を実施

令和3年度 of 取組状況

水防災意識強化週間におけるパネル展示

水防災意識強化週間の普及・啓発活動の取組として、関東地方測量部でパネル展示を行いました。

展示パネル



展示状況

